

My research on motivation

From practice to theory

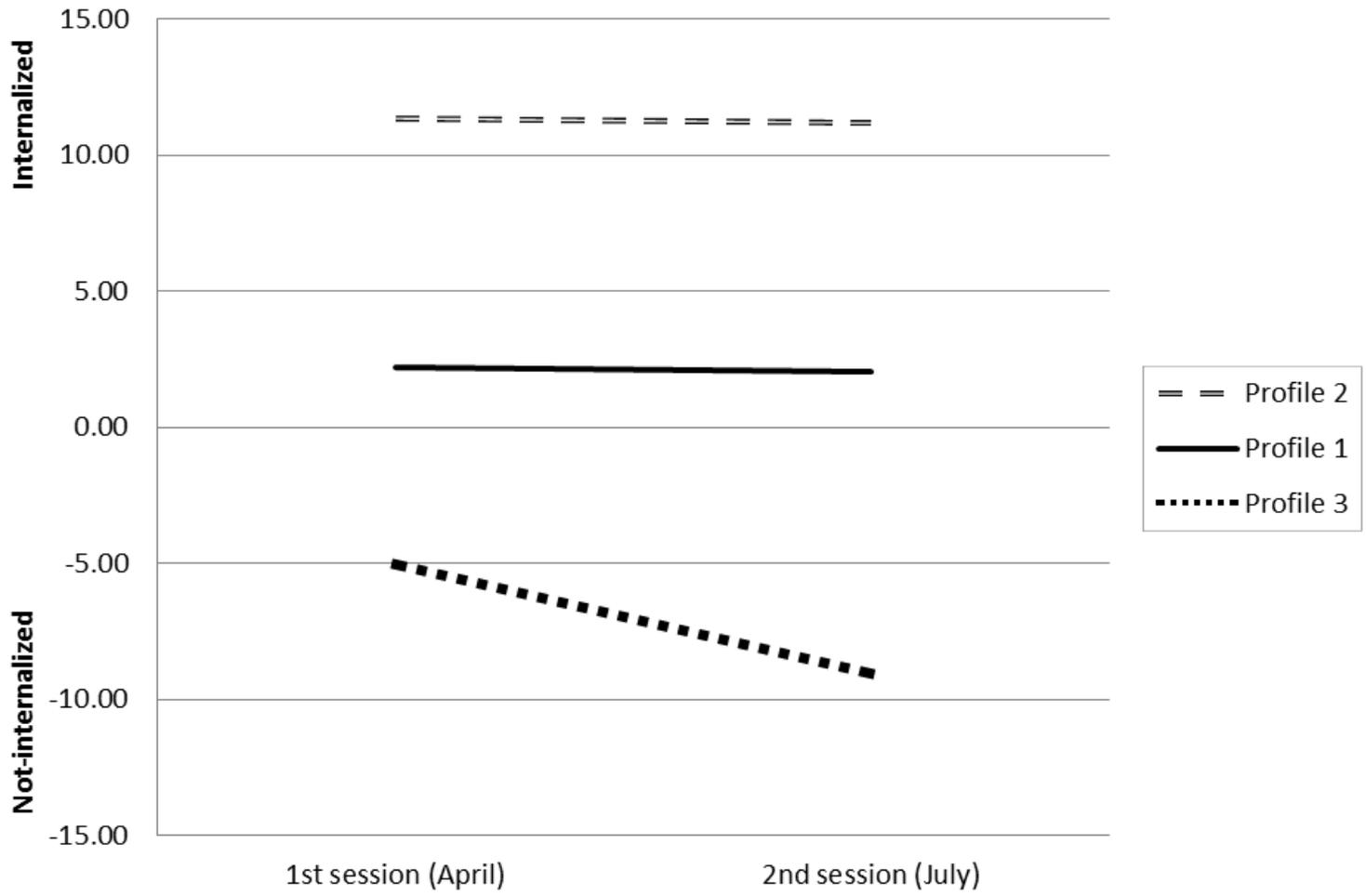
杉田麻哉

早稲田大学教育学部

今までの動機づけ研究

- 学習理由（特に、‘self’）
- それぞれのコンテキストにおける動機づけ要因の妥当性(EFL, ESL, bilingual, immersions)
- 動機のレベル（高さ、低さ）
- 他の学習者要因との関連性（language learning strategies, attitude, effort etc.）
- 能力等との関連性(course grade, achievement, proficiency)
- 先生の教授法（もしくは動機づけ方法）と学生の動機の関係

Internalization Changes



自身の研究の動向

実践重視

Practical
motivational
styles and
students'
motivation :
In the classrooms
and outside the
classrooms

理論重視

Theoretical
comparison in
second language
motivation research

学際的な研究へ

Theories on
motivation:
Socio/Personality
psychological
perspective

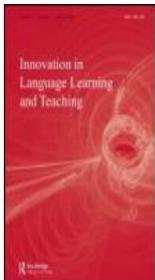


実践的な研究の一例

- 学習者の動機を上げる動機づけ方略が見つかった
- 動機づけ方略の効果は、学習者の英語力により違いがみられる

Sugita, M., & Takeuchi, O. (2010). What can teachers do to motivate their students? A classroom research on motivational strategy use in the Japanese EFL context. *Innovation in Language Learning and Teaching, 4*, 21-35.

Sugita McEown, M., & Takeuchi, O. (2014). Motivational strategies in EFL classrooms: How do teachers impact students' motivation? *Innovation in Language Learning and Teaching 8*, 20-38



Developmental な側面に焦点を当てた実践的な研究の一例

Appendix E. Journal format used in Study 3

月	日	曜日	名前 ()				
			とても頑張った	まあまあ	全く頑張らなかった		
自己評価：今週は授業で英語を頑張った→頑張らなかった (5→1)			5	4	3	2	1
自己評価：今週は家で英語の勉強を頑張った→頑張らなかった (5→1)			5	4	3	2	1

1週間あたりの学習時間	今週は、家でどんな勉強をがんばりましたか？ (学校の宿題・塾の宿題・自主学習も含む)	なぜ頑張ったの?? <u>詳しく</u> 書いてください。 何が(問題集が面白い・テストがあるから)/誰が(例:先生に励まされた・塾の先生からシールがもらえるから・家族にほめられるから・友達と頑張ろうと決めたから)がきっかけで頑張れたのかな?
例: 2時間	例: 塾のワーク(動名詞のドリル)3ページ頑張った	例: 塾の先生が、宿題にしたから
例: 30分	例: ノート作りを普段よりも頑張った	例: 先生が点検してハンコを押してくれるから 先生に成績に入れるといわれたから
	例: 単語を書いて覚えた	例: 先生が単語のテストをするって言ったから 勉強を頑張ったら親がほめてくれるから
()時間		
()分		

実践的な研究を振り返って

良い点：

- 言語教員として、実践的に使える研究ができる(アクションリサーチ的なもの)
- 即実践に応用できる

しかし、

- 理論的研究でない場合、研究の再生産性が低い

理論重視の研究の一例

- 理論を基に研究をし、理論の発展に貢献するような研究がしたい
- 3つのself 理論に着目 (self-determination theory, socio-educational model, motivational self-system)

理論重視の研究の一例

Two theoretical comparison studies

- 1) self-related motivational concepts from three different self-theories represent conceptual overlaps.
- 2) particular self-related orientations better explain certain L2 motivational behaviors and learning outcomes in the TL context.

Sugita-McEown, Noels and Chaffee, 2014; Sugita-McEown, Noels, Saumure, 2014

現在の研究

- Selfに関連した理論の統合を測る？
- Global English と Foreign language の違い—selfの観点から
- Fundamental attribution error に関する考察—selfの観点から

Fundamental attribution error に関する考察—selfの観点から

- なにか、self-related motivation を高めるのかは未知である。
- Internal (Personality) vs external factors (teacher, parents, cultural factors, socio political factors etc)
- External factors がInternal factors よりも多くの影響を与えていることが分かった。(Sugita McEown, M, S., Sawaki, Y., & Harada,T.)

今後は、学際的な研究へ

- Social Psychology, Personality Psychology, Neuro psychology の知見を入れる

